

第11回都区のあり方検討委員会幹事会 会議概要

日時 平成20年4月24日（木）午後2時30分から
場所 都庁第1本庁舎33階 N1会議室
出席者 都側：押元総務局長、中西行政部長、和賀井行政改革推進部長、
中村自治制度改革推進担当部長、真田主計部長、
森都区制度改革担当部長、西村区政課長
区側：山崎墨田区長、武井港区長、濱野品川区長、
大山千代田区副区長、水島豊島区副区長、
清正北区政策経営部長、志賀特別区長会事務局次長

1 会議の概要

○都区のあり方検討委員会幹事会の構成員の異動について

人事異動により都側構成員に異動があったため、新たな構成員の紹介があった。

<資料>

- ・【参考資料】都区のあり方検討委員会幹事会構成員名簿（平成20年4月1日現在）

○第9回都区のあり方検討委員会幹事会議事要旨及び第10回都区のあり方検討委員会幹事会について

第10回幹事会は持ち回りで開催したため、議事要旨を作成していないとの説明があった。

○第4回都区のあり方検討委員会について

4月18日（金）に開催された都区のあり方検討委員会において、平成19年度の幹事会での検討状況と都区のあり方検討に関する今後の進め方について了承されたとの報告があった。

<資料>

- ・【資料1】第4回都区のあり方検討委員会の検討結果

○具体的な事務配分の検討について

「特定計量器に係る定期検査、勧告などに関する事務」など9項目について、都区双方の考え方を示して議論を行った。今回検討した事務については、今後、具体化する上で都区双方から出された留意点等を踏まえる必要があるが、「区へ移管する方向で検討する事務」として整理が行われた。

<資料>

- ・【資料2】検討対象事務評価シート

○特別区の区域のあり方について

都側から、特別区の区域のあり方に関する論点と第8回幹事会で示した区側の参考論点に対する意見が示され、区側は持ち帰ることとなった。

<資料>

- ・【都側資料1】特別区の区域のあり方に関する論点
- ・【都側資料2】特別区の区域のあり方に関する考え方（検討の素材）

○その他

都側から、事務配分の検討に用いる資料について、より検討しやすい様式を工夫したいとの提案があった。都区の事務局で調整し、次回の幹事会から新しい様式で検討を行うこととなった。